

2019年度 医学部・看護学部
新入生学外合宿 活動報告書



2019年4月18日（木）～ 4月19日（金）

淡路夢舞台

- ・ 国際会議場
- ・ ウェスティンホテル淡路

◆ プログラム ◆

2019 年 4 月 18 日(木) [1 日目]

ウェスティンホテル淡路に到着後、1F「チェーロ」に荷物を置き、隣の会場「ステラ」に移動。

※貴重品や筆記用具、しおりなど手元に必要な荷物を持ってステラに移動してください。

荷物保管場所の「チェーロ」は施錠されます。

○ 12:00－12:45

＜昼食＞ ウェスティンホテル淡路 1F 大宴会場「ステラ」

※ 到着した観光バスの号車毎に昼食開始。

○ 12:45－13:00

＜移動＞ ウェスティンホテル淡路 1F「ステラ」 → 国際会議場 2F「メインホール」

○ 13:00－13:30

＜開会式・学生生活をはじめるにあたって＞ 国際会議場 2F「メインホール」

【司会進行】 医学学生生活支援センター長 佐浦 隆一 先生(リハビリテーション医学教室・教授)

＜導入・アイスブレイク＞ 国際会議場 2F「メインホール」

【司会進行】 澤村 律子 先生(保健管理室・講師)

○ 13:30－15:00

＜救急蘇生体験学習(講座・実習)＞ 国際会議場 2F「メインホール」

【講 師】 西本 泰久 先生(大阪ライフサポート協会・理事長)

※ 救急蘇生体験学習の実習は床で実習を行うため、動きやすい服装で参加してください。

特に、女子学生はスカートの着用は避けて、ズボン等の服装で参加してください。

○ 15:00－15:15

＜移動＞ 国際会議場 2F「メインホール」 → それぞれのグループ別討論のテーブル

※グループ別討論会場(国際会議場 B1F「イベントホール」、2F「レセプションホール B」)は、2つに分かれているため、各自グループ番号を確認しておいてください。

○ 15:15－18:15

＜グループ別討論＞ 国際会議場 B1F「イベントホール」、2F「レセプションホール B」

※17:30 までは必ず会場にいてください。

その後は、終わったグループからポスター掲示に向かってください。なお、グループ討論中に各自の客室ルームキーを配付しますので、キーとブックレットは両方とも(ブックレットには氏名が記載されているため)紛失しないようにしてください。

『医学生・看護学生の手引き(講義・実習版)をつくろう!』

【テーマ】

“より良き医療人になる”という目標を叶えるための自らの抱負や目標、守るべき事項(自らが課す約束事)などをまとめて、これからの学生生活を有意義に送るための自分たちの手引き(マニュアル)を創ってください。

※ 上記テーマについてグループでディスカッションし、ポスターにまとめてください。

ポスターは、ウェスティンホテル淡路 1F「チェーロ前ホワイエ」もしくは「ステラ前(廊下)」の指定された場所に掲示をしてください。その際、各グループ 2 名程度でポスターを運び掲示をしてください。

※ポスターを運ぶ際は広がらず、他のお客様のご迷惑にならないようにしてください。

残りのメンバーは、テーブルの後片付けをし、文具等を国際会議場 2F 受付に返却ください。

○ 18:15－19:00

＜ホテル(ウェスティンホテル淡路)へ移動＞

ポスターの掲示が完了したグループから、ホテルの客室へ移動

※「チェーロ」に保管している荷物は忘れないように持って移動してください。

(チェーロの開錠は 17:30 以降)

→ それぞれ、指定の客室へ移動

→ 荷物を客室に置き次第、懇親会会場(18:55 会場着席)へ移動

○ 19:00－20:30

＜懇親会(夕食)＞ ウェスティンホテル淡路 1F 大宴会場「ステラ」

※ 参加者相互の理解と親睦を深める懇親の場です。

【司会進行】 鈴木 陽一 先生(微生物学教室・講師)

府川 晃子 先生(看護実践発展領域・准教授)

『開会の挨拶:学長(医学部長) 大槻 勝紀 先生』

『閉会の挨拶:看護学部長 道重 文子 先生』

懇親会終了後、諸連絡がありますので、各自着席して待機してください。

○ 20:30－21:30

＜グループ別討論のポスター投票＞ ウェスティンホテル 淡路 1F

「チェーロ前ホワイエ」、「ステラ前(廊下)」

懇親会終了後、各グループ二班(A 班 20:30～20:50・B 班 20:50～21:10)に分かれて発表と投票を交互に行います。

※各グループで 4 枚の赤いシール(A 班 2 票、B 班 2 票)を配付します。

チューターの先生方、学生スタッフには青色のシールを 1 人 1 枚配付します。

先生用のシールと学生用シールは、各テーブルに設置された文具セットの中に入っていますので、忘れずに懇親会の会場に持って来てください。(懇親会後に投票のため)

※21:10 までに投票が完了しなかった場合でも、21:30 までには完了させてください。

○ 21:30 頃～

＜自由時間＞

※他のお客様もおられますので、客室内や客室前の廊下にて大声で話したり、ホテル内で騒ぐなど迷惑行為は行わないように注意してください。

また、合宿で利用する場所以外には立ち入らないでください。

※スリッパで客室以外の出歩き厳禁※

■24:00 消灯■

24:00 までに就寝してください。

2019 年 4 月 19 日(金) [2 日目]

■ 起床 ■

○ 7:00－8:20

＜朝食＞ ウェスティンホテル淡路 1F 大宴会場「ステラ」
大宴会場「ステラ」7:00～ドアオープン

＜チェックアウト＞

学生 → 国際会議場 2F 受付

教職員 → ウェスティンホテル淡路 2F フロントデスク

※8:00～ チェックアウト(ルームキー返却)開始

8:30 までに朝食およびチェックアウト(各部屋ごと)を済ませ、発表討論会場(国際会議場 2F「メインホール」)に着席してください。

※ チェックアウト後はホテル客室に戻ることができませんので、忘れ物がないか確認し、荷物を
持って国際会議場 2F メインホールまできてください。

※ ルームキーを受け取った状態(ブックレットにキーを入れた状態)で返却してください。

※ ルームキーを返却した際に、前日受講した救急蘇生体験学習の受講証を各自受け取ってください。これをもって、発表討論会の出席確認とします。

○ 8:30－10:00

＜発表討論会＞ 国際会議場 2F「メインホール」

【司会進行】看護学学生生活支援センター長 田中 克子 先生(慢性期成人看護学領域・教授)
駒澤 伸泰 先生(教育センター・講師(准))

【総 評】小野 富三人 先生(生理学・教授)

前日のポスター投票結果の上位 3 グループとチューター投票結果で一番に選ばれた 1 グループの合計 4 グループが発表します。

○ 10:00－10:30

＜集合写真撮影＞

国際会議場 2F「メインホール」 → 国際会議場 1F「エントランスロビー」に移動。

「メインホール」は荷物保管場所として施錠するため、貴重品を持って「エントランスロビー」に移動し、写真撮影後、国際会議場 B1F「イベントホール」で行われる学生交流イベントに参加。

○ 10:30－12:30

＜学友会企画 学生交流イベント＞ 国際会議場 B1F「イベントホール」

【司会進行】学友会

○ 12:30－13:00

＜昼食＞

学生 → 国際会議場 2F 「メインホール」、

教職員・学生スタッフ → 国際会議場 2F 「レセプションホール B」

学生交流イベント終了後、弁当を各自受け取り、発表討論会と同じ席に着席してください。

※ アレルギー調査表でアレルギーの申請をしている方は、必ず自分のお弁当か確認のうえ、
受け取ってください。

※ 忘れ物がないか確認をしておいてください。

※ 貴重品など手元に必要な荷物は分けておいてください。

○ 13:00－13:15

＜閉会式＞ 国際会議場 2F「メインホール」

【司会進行】看護学学生生活支援センター長 田中 克子 先生(慢性期成人看護学領域・教授)
各学部、総代、副総代の紹介

閉会式後、誘導に従い順次バスへ移動してください。

※バスは行きと同じ号車に乗車してください。点呼があります。

■13:30 頃 淡路夢舞台(国際会議場)出発予定■

■15:30 頃 新大阪駅(南口駐車場)到着予定■

バス到着次第、新大阪駅にて各自解散とします。

◆ グループ別討論 ◆

医学生・看護学生の手引き(講義・実習版)をつくろう！

より良き医療人を目指す諸君の

大阪医科大学での講義・実習に対する期待と抱負を聞かせてください！！

【グループワークの趣旨】

1. 将来どのような “より良き医療人（医師・看護師など）” になりたいのか？を考えてください。
2. 皆さんが、なりたい“より良き医療人”に近づくためには、学生生活をどのように過ごしていけば良いでしょうか？
そのための方策を教えてください。また、講義や実習に対して、皆さんが大学や教員に希望することや期待することを教えてください。
3. そして、自学自習を含む講義や実習に対する皆さん自身の抱負や意気込み、学生生活を充実させるために、自らが自らに課す約束事、ルーチンなどをグループでまとめてください。

“より良き医療人になる”という漠然とした目標を、自分が解釈したイメージに落とし込み、そのために

- ・ 自分自身は、学生生活や日常生活で、何をどうしていくのか？
- ・ 講義や臨床実習に何を求め、何を返すのか？

など、具体的な事項を考えてください。

“より良き医療人になる”という目標を叶えるための自らの抱負や目標、守るべき事項（自らが課す約束事）、ルーチンなどをまとめて、これからの学生生活を有意義に送るための自分たちの手引き（マニュアル・ガイドライン）を創ってください。

【ポスター作製の方法】

グループごとに分かれて、各人が目指す“より良き医療人になる”ための準備（自学自習・講義・実習など）に対する期待と抱負をまとめて、“有意義な学生生活や日常生活を送るための医学生・看護学生のための手引き（講義・実習版）”を作成してください。

＜グループワークの進め方＞

① 役割を決める。

1. 司会進行係
2. 発表者 2 名
 - ・ ポスター投票時、A 班・B 班に分かれた際の代表者となる
 - ・ 投票の結果、発表討論会で発表することとなった場合は、2 名のうち 1 名を代表発表者とする
3. 書記（ディスカッション中）
4. タイムキーパー
5. ポスター作成リーダー
 - ・ グループで話し合った内容をどのようにポスターに反映するのか企画する

② “より良き医療人” の具体的なイメージを述べる（例：1 分間スピーチ）。

③ “より良き医療人” になるために、自分自身はどのような学生生活・日常生活を過ごすつもりなのか？を述べる（例：次の 1 分間スピーチ）。

④ “より良き医療人” になるために、大学に対してどのような自学自習を含む講義や実習を期待するのかを述べる（例：最後の 1 分間スピーチ）。

（たとえば）

- ・ 抽象的でもいいので、講義・実習に期待すること（わくわく、ドキドキ？）
- ・ シラバス（講義予定表）に記載されている講義・実習に対しての期待
- ・ 講義・実習を有効に活用するための方策
- ・ 講義・実習を有効に活用したかどうかを教員に評価してもらう方法
- ・ シラバスに記載されていないが、“より良き医療人” になるために必要であり、新しく開設を期待する講義・実習の科目
- ・ その他の夢と希望

⑤ 期待する講義や実習を有効に活用するための抱負をまとめて“有意義な日常生活・学生生活を送るための医学生・看護学生のための手引き（講義・実習版）”を作成する。

● 手引き（ポスター）に必ず入れる項目

1. “より良き医療人” の具体的なイメージ（イラストでも OK！）
2. 講義や実習に期待すること、その講義や実習を行う教員に期待すること
3. 期待する講義や実習を有効に活用するための皆さんの抱負
4. 講義や実習を期待するレベルに高めるために、皆さん自身が自分で行わなければならないこと（責任ある大阪医科大学の学生として、自らが自らに課す遵守すべき事項など）やマイルーチン
5. その他の手引きに必要と考えられる事項

※手引き（ポスター）には、『グループ番号』を記入すること

⑥ 発表用の手引き（ポスター）を作成する。

- ・ポスター作成リーダーを中心にグループで協力して、特大ポストイトに手引きを清書する。
- ・特大ポストイト 1 枚に発表の内容をまとめる。
- ・文字は大きく見やすいように記入する。
- ・内容がわかりやすいようにイラストや図表も適宜使用する。

⑦ 作成した発表用の手引き（ポスター）をグループの代表者が指定された場所に掲示する。

<グループ討論の注意点>

1. 全員が参加して発言する。

自分の意見を大きな声で述べよう。

「だれだれと同じ」「だれだれと同じ」で済ませないこと。

進行役は、全員が発言できるように促したり、気を配ったりすること。

2. 要点は、はっきりと手短かに述べる。

テーマから外れないよう注意する。要点を整理して話そう。

3. 相手の意見を尊重し、最後まで聞く。

誰かが発言している間は集中して聞く。発言を途中で遮らないこと。

4. 議論白熱は歓迎、ただし冷静に行う。

違う意見もいったん受け入れよう。感情的にならないこと。

揚げ足とりや人格への攻撃は禁止です。

5. 前向きな態度で取り組む。

明るく前向きをモットーとしよう。

私語、居眠り、斜に構えた態度などで、場の雰囲気を壊さないこと。

<ブレインストーミングのやり方>

ブレインストーミングとは、頭の中を嵐のように回転させて自由なアイデアを出すための会議の方法です。

① はじめに各人が意見を出す。

1 人ずつ意見を言っていく。

② 出た意見を全てカテゴリー別に分類してみる。

1 枚の紙に一つの意見を書く（1 人 3 枚以上書く）など

③ 追加の意見を出す、内容を検討する。

『ブレインストーミングの 4 原則』

次の 4 つの原則に基づいてグループワークを行ってください。

- ・批判厳禁（他人の意見を否定してはいけません）
- ・自由奔放（どんな突飛な意見でも構いません）
- ・質より量（発言、アイデアは多ければ多いほどよい）
- ・便乗歓迎（他人の意見をちょっと変えただけの意見也大歓迎）

そしてある程度、アイデアが出そろったら、「批判解禁」して、使える意見の選別、また、意見の整理を行う。

ブレインストーミングを行うことによって

- ①どんな意見やアイデアが多いか、傾向が分かる。
- ②少数派の意見やアイデアも拾える。
- ③似たような内容であったとしても、言葉の使い方や表現方法の選択肢が広がる。
- ④全体のイメージをグループで共有できる。

＜グループとしての意見をまとめる前に＞

メンバー全員が十分に意見を出し尽くしたか？

- ・自由奔放に意見が言い合えたか？
- ・遠慮はなかったか？
- ・まだ発言していない人はいないか？

多数決で決めようとしていないか？

- ・少数意見を尊重したか？
- ・1つひとつの意見を吟味したか？

理由は明確か？

- ・声の大きい人の意見に引きずられていないか？
- ・本当に納得できる理由か？
- ・〇〇がそう言っていたから、〇〇にそう書いてあったから、という安易な理由で決めようとしていないか？

＜議論が行き詰まったら＞

チューターの出番です。

ただし、チューターは、正解を教えてくれる人ではありません。

チューターは、議論が大幅に脱線してしまいそうときには、警告を出します。

また、メンバーが討論の仕方がわからないときは、そのやり方を教えます。

チューターはみなさんの先輩です。みなさんよりたくさんの経験を積んでいます。

チューターの経験を聞くことによって、新しいアイデアが浮かぶかもしれません。

【ポスター発表・投票について】

懇親会終了後、ウェスティンホテル淡路 1F 「ステラ」前のホワイエでポスター発表・投票を行います。各グループ二班(A班・B班)に分かれて発表と投票を交互に行います。

※各グループで4枚の赤いシール(A班2票、B班2票)を配付します。

チューターの先生方、学生スタッフには青色のシールを1人1枚配付します。

先生用のシールと学生用シールは、各テーブルに設置された文具セットの中に入っていますので、忘れずに懇親会の会場に持って来てください。(懇親会後に投票のため)

＜投票の手順＞

① 20:30～20:50 A班は各グループポスター前で投票者からの質問等に答える。

B班は他のグループのポスター、発表等を見聞きして良かった2グループに投票する。

- ② 20:50～21:10 B班は各グループポスター前で投票者からの質問等に答える。
A班は他のグループのポスター、発表等を見聞きして良かった2グループに投票する。
- ③ 21:10～ 投票が完了していないグループは投票を行う。

※21:30 までにポスター投票を完了させること

<投票時の注意事項>

- ・各グループで投票できるのは4グループまで(A班2票、B班2票)。
- ・A班、B班の投票先が重複しても可とします。
- ・自分たちのグループに投票することはできません。

『他のグループの発表を評価する時のポイント』

他のグループの発表を評価する際には、下記のポイントに注目して評価しましょう。
また、自分たちのグループの発表と比べてみるのもよいでしょう。

- ・手引きの形式を満たしているか？
- ・有意義な学生生活を送るための手引き（講義・実習版）として妥当な内容か？
- ・講義や実習を楽しむ要素があるか？
- ・文章・文言・イラストなどが美しいか？
- ・発表の明瞭さ、わかりやすさはどうか？

【発表討論会の進め方】

投票の結果、上位の3グループと、チューターに一番選ばれた1グループの合計4グループを選出します。

選出されたグループは、壇上で順に発表を行います。

概要説明

司会より進め方の概要、注意点説明（10分）

↓

発表（1グループ約7分、2グループ15分以内）

↓

討論

各グループ内で発表された内容について討論（5分程度）

発表したグループに質問、意見発表（15分程度）

上記を2セット実施する。

↓

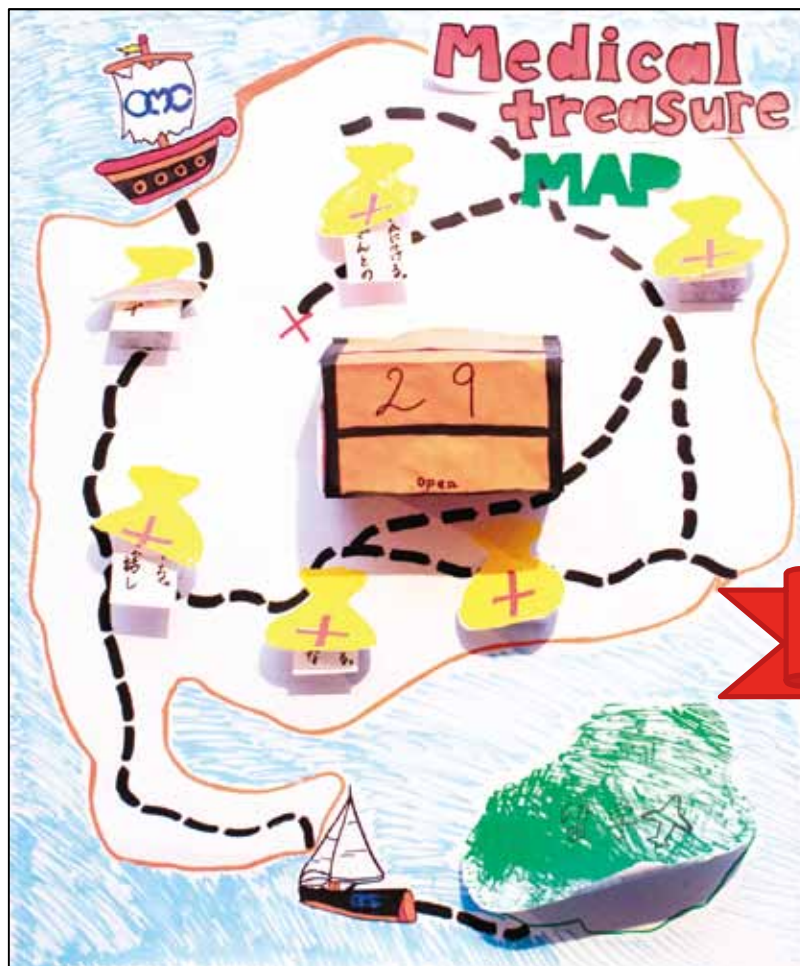
総評

第1位



第2位





①



より良き医療人のイメージ
各医療人の専門分野と共有し
患者に分かりやすく説明できる

大学に求めるもの
医学部看護学部合同実習
他大学との意見交換・連携
他の職業の仕事に興味を持ち、理解する。

学生生活はどう過ごすか？
先輩、後輩、他大学、他学部の人と積極的に
交流する。

良き医療人を目指す旅

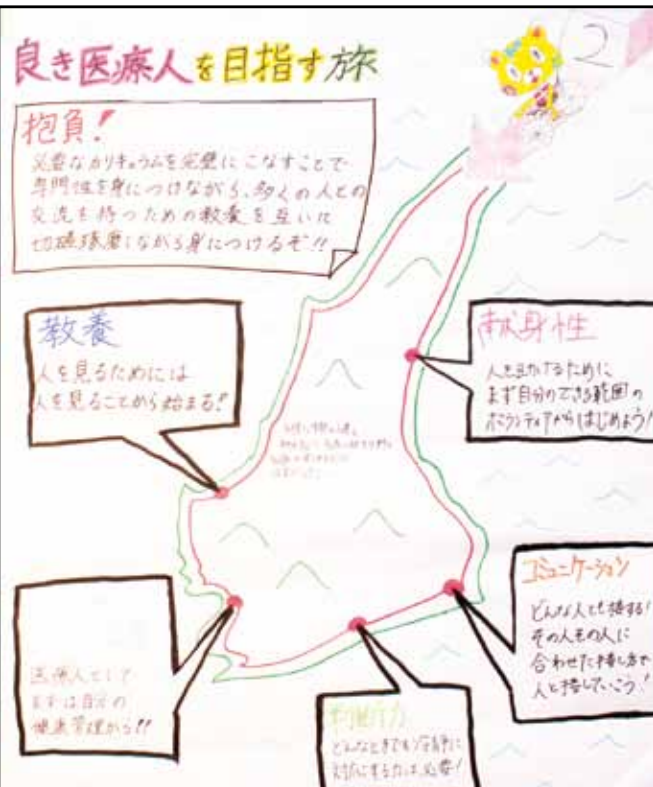
抱負！
必要なカリキュラムを完璧にこなすことで
専門性を身につけながら、多くの人との
交流を持つための教養を互いに
切磋琢磨しながら身につけるぞ！！

教養
人を見るためには
人を見ることから始める！！

献身性
人と向き合うために
まず自分自身の範囲の
なかでケアをしよう！！

コミュニケーション
どんな人にも通ずる！
その人の中に
合わせて寄り添う人
と接しよう！！

フィジカル
どんなときでも冷静に
対応するには必要！！



3年生

医療人

家族 患者 自分

自分を見る
・体力をつける
・健康的な生活
・広い視野

周りを見る
・幅広い年代の人と関わる
・周りの人への配慮
・好奇心

笑顔
配慮
観察力
信頼関係

スキル
チーム力
懐疑的な考え
コミュニケーション力

ディスカッション形式を増や可
(体験実習を6年(4年)通して3人
職種別の連携で体験する
学習スペースを広くする

4

医療人との交流の機会を場やして欲しい

コミュニケーション
スムーズな連携と
患者さんとの対話

精神力
何事にも動じない
強い心

思いやり
患者さんの立場に
立って考える

自身の健康
自分の体調を
管理する

豊富な知識
専門的な医療知識
を身につける

設備の充実
学生が利用できる
憩いの場を作っ
て欲しい

規則正しい生活
バイトと部活も
頑張る

授業の予習 復習
集中して授業に
取り組む

倫理観

謙虚な気持ち

体力



より良き医療人になるために

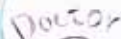
〈看護師として求められること〉

- ・患者への距離を縮める
- ・(医師よりも)ケアに重きを置く
- ・患者への生活を整える



〈医師として求められること〉

- ・知識・技術の充実
- ・症状・治療方針を
分かりやすく伝える
- ・冷静な判断



＜医療人として求められること＞

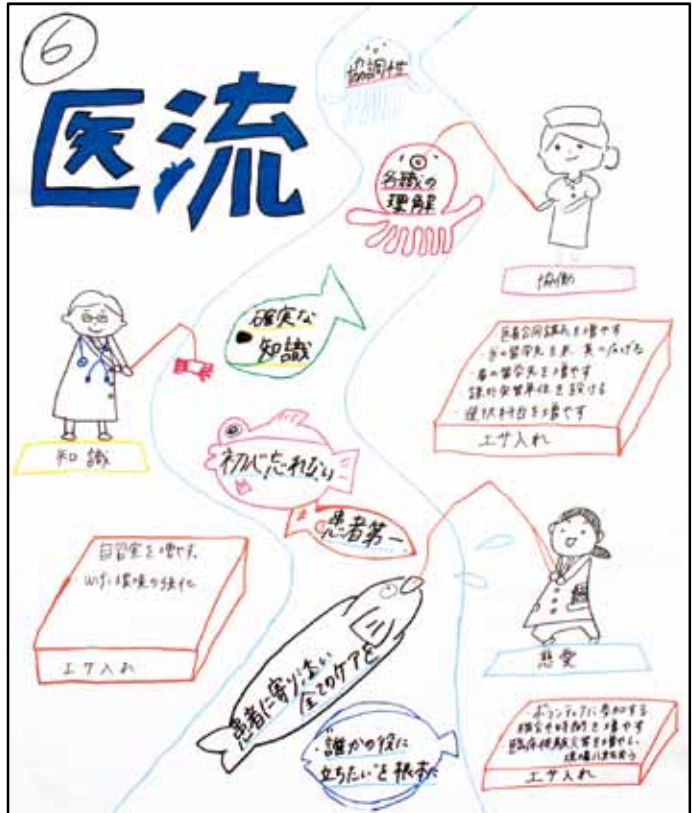
- ・「病」だけでなく「人」を看る
- ・他の職種の人と連携する
- ・患者への不安を取り除く
- ・患者だけでなく家族にも気を配る
- ・協調性をもつ



7"12-7°5

⑥

医流





より良き医療人になるために

9グループ
相原 奇藤 中田
四方 祖 重村

生活・勉強面

自分にできる事

- ・体調管理
時間に厳しく
お酒などはこは、ほどほどに!
- ・勉強に対する姿勢
知識 授業に関して
自分に合った勉強法を見つける

大学に求める事

- ・授業の組み方の改善
- ・プリントに書いた事を喋らな
- ・自習室を増やしてほしい

対人面

自分にできる事

- ・人とのコミュニケーション力
部活・バイト・ボランティア活動に積極的に取り組んで、たくさんの人と関わる
- ・倫理観
常識を養う
人に聞く場

大学に求める事

- ・患者さんより多く関わるために、病院実習を増やしてほしい
- ・海外への医療系ボランティアの人数を増やす

Medistagram

OMC_group10

♥💬📌

#小さな変化にも気付くことができる医療人
どの世代にも対応できるコミュ力をつけたい!!
→ 実習で患者さんと積極的に関わる
日々の授業を大切にする!!
→ まずは、規則正しい生活から☺



13グループ

より良き医療人となるためのチカラ

▷患者さんやそのご家族の立場に寄り添い、
全人的な医療を実践できる医療従事者

そのために必要なもの

倫理観

- ・実習を大切にする
- ・ニュースに関心を持つ

技術・知識

- ・授業への能動的な参加
- ・向学心を保つ

コミュニケーション能力

- ・タテヨコに関わり
- ・学外の人々に関わり
(バイト、ボランティアなど)

国際性

- ・英語力
- ・時事ネタ国際情勢への関心
- ・留学生との交流



どんな授業があるといいだろう？

- ・講師と生徒の双方向的な授業
- ・グループワークなどの対話的な授業
- ・レポートを発表する場が欲しい

劇的ビフォーアフター

before



- ・ネイティブによる少人数の英会話授業の導入
- ・ボランティアやバイトの紹介制度
- ・学生中心の参加型の明るい授業



after



- ・人の痛みがわかる
- ・患者さんに心を開いてもらえる
- ・患者さんと同じ目線ぞ

1/4班

15班

医療人として

知識

人としての患者をみる

チームで取り組む

そのために...

部活、バイト、ボランティア、授業への取り組みを通じてさまざまな人と交流し、コミュカを養うことが必要!

医療人マインドをもっと生徒参加型にしてほしい

講義には発言等積極的に参加する。

小さな疑問でも探求心を持って自ら追求する。

16班宣言

何事にも全力で向き合い、取り組みます!!

16班

観察力

思考力

技術知識

コミュニケーション能力

リーダーシップ

教える機会 チーム医療の実践の機会

誠実さ 包容力 主体性

先輩の話を聞く アルバイトで得た経験

部活動 知的好奇心

国際交流

16班宣言

何事にも全力で向き合い、取り組みます!!

16班

より良き医療人になろう!

YESなら笑顔 NOならめいど!

時間を守れる → 話しかけ易いと言われる → 自分の健康を意識している

ON/OFFの切り換えができる ← 聴き上手だ ← 状況把握能力がある ← 決断力がある

遊びより課題を優先できる → 他の医療職にも関心がある → これに加えてプレゼンと討論の機会を増やしてもらえれば...?

17班

より良き医療人になろう!

YESなら笑顔 NOならめいど!

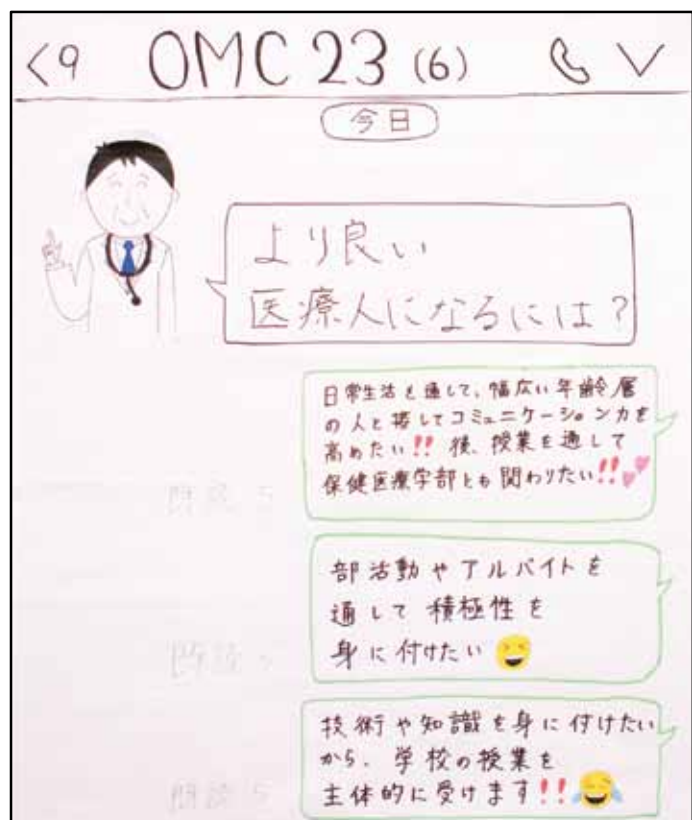
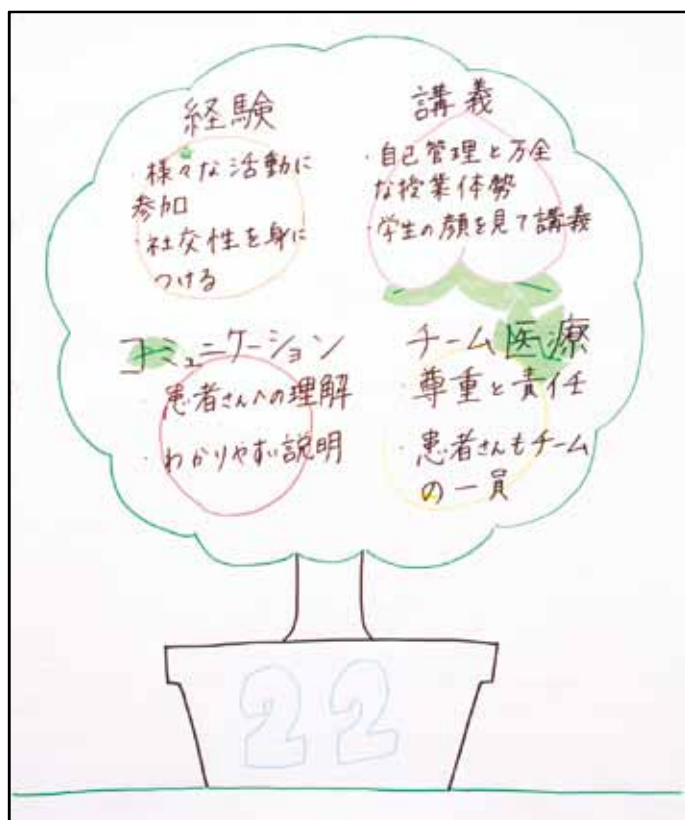
時間を守れる → 話しかけ易いと言われる → 自分の健康を意識している

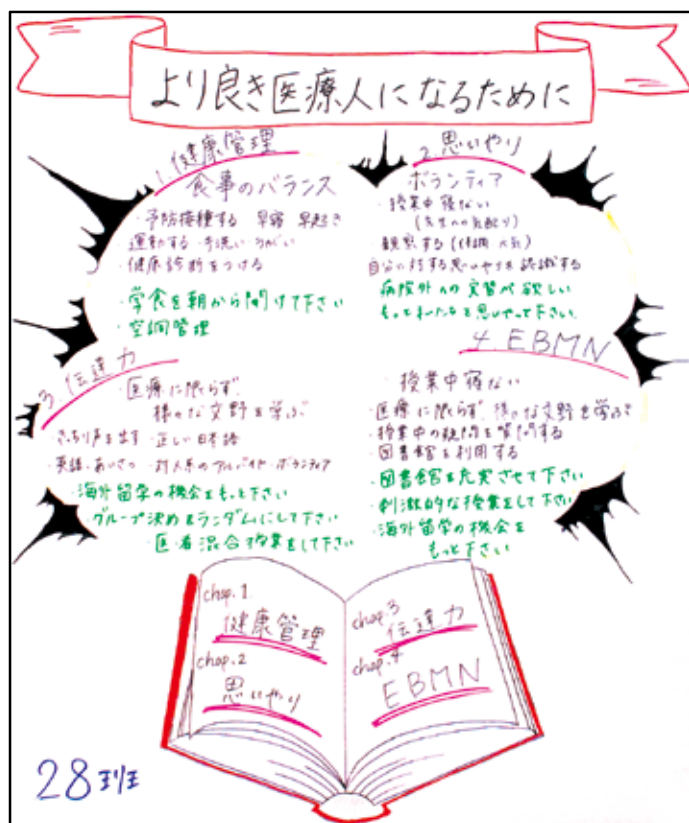
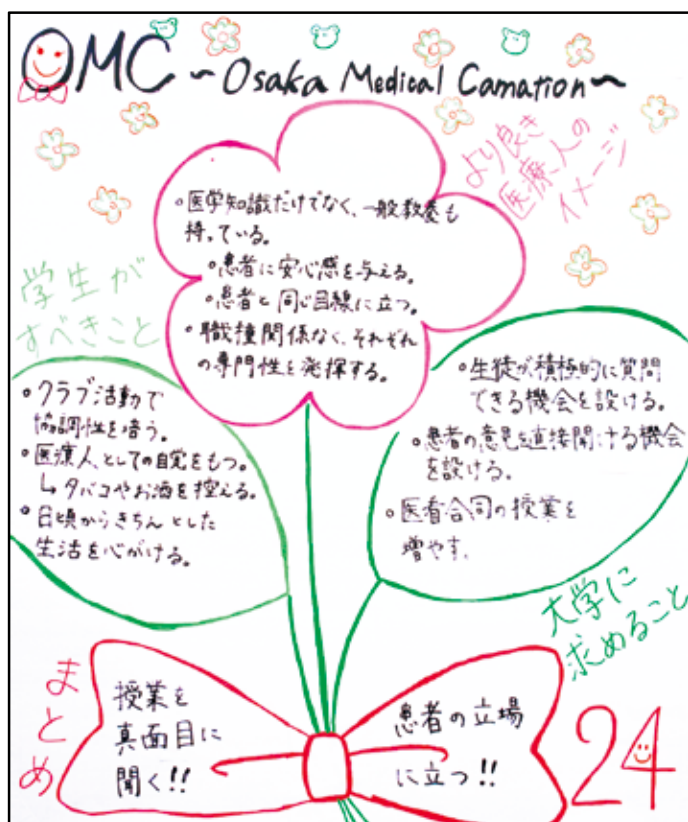
ON/OFFの切り換えができる ← 聴き上手だ ← 状況把握能力がある ← 決断力がある

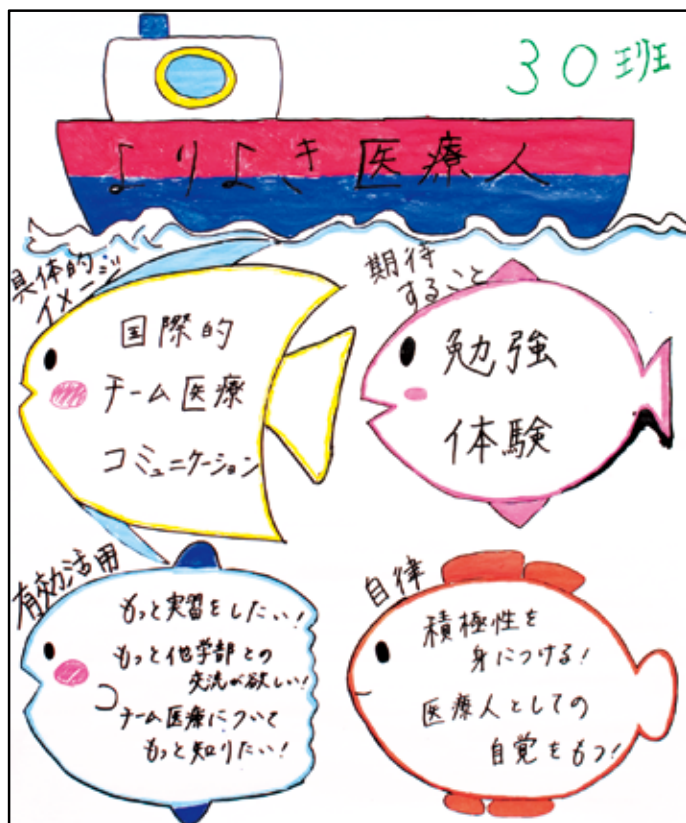
遊びより課題を優先できる → 他の医療職にも関心がある → これに加えてプレゼンと討論の機会を増やしてもらえれば...?

17班









より良き医療人になるために ③

イメージ

➡

どうすべきか?

- 技術 楽して金儲けは出来ず 授業に出る!
- コミュニケーション能力 空きコマが欲しい 部活、バイト、遊び
- 冷静な判断力 実習などで経験を積む
- 体力・忍耐力 丁寧な指導 部活、体調管理
- 外国人への対応 応対が楽しい!! 留学、語学の授業を大切に

大学の授業に積極的に出席し、
ストレートで卒業して、

より良き医療人 になります。

◆ 新入生学外合宿の様子 ◆

◇昼食



◇開会式・学生生活をはじめるにあたって・アイスブレイク





◇救急蘇生体験学習(講座・実習)



◇グループ別討論 『医学生・看護学生の手引き(講義・実習版)をつくろう！』









◇懇親会



◇ポスター投票



◇発表討論会

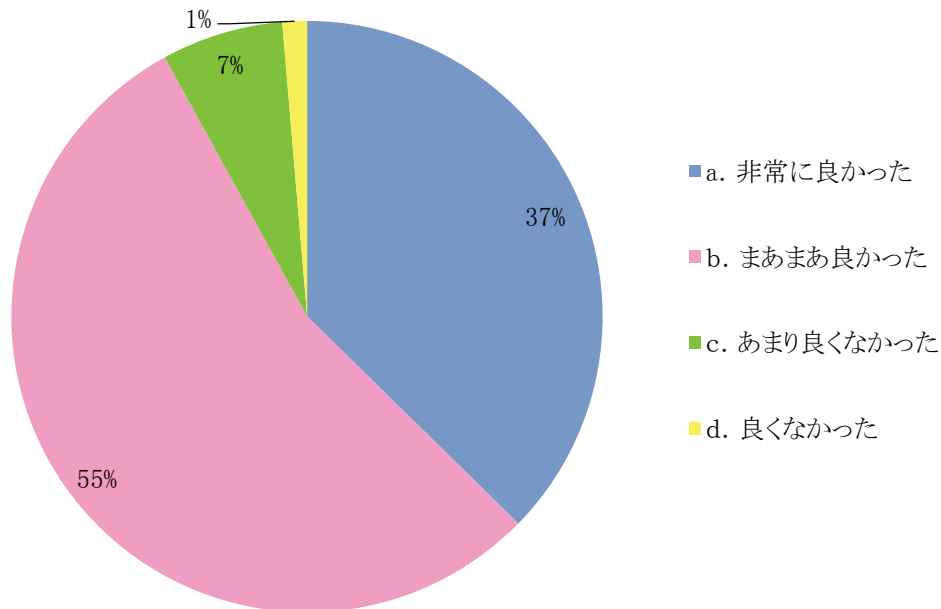


The left photograph shows a presentation stage with five individuals. A man in a light-colored jacket is speaking into a microphone, while others stand behind him. The right photograph shows a large audience of people sitting on the floor in a hall, facing the stage.

◆ 参加者アンケート結果 ◆

< 医学部新入生 >

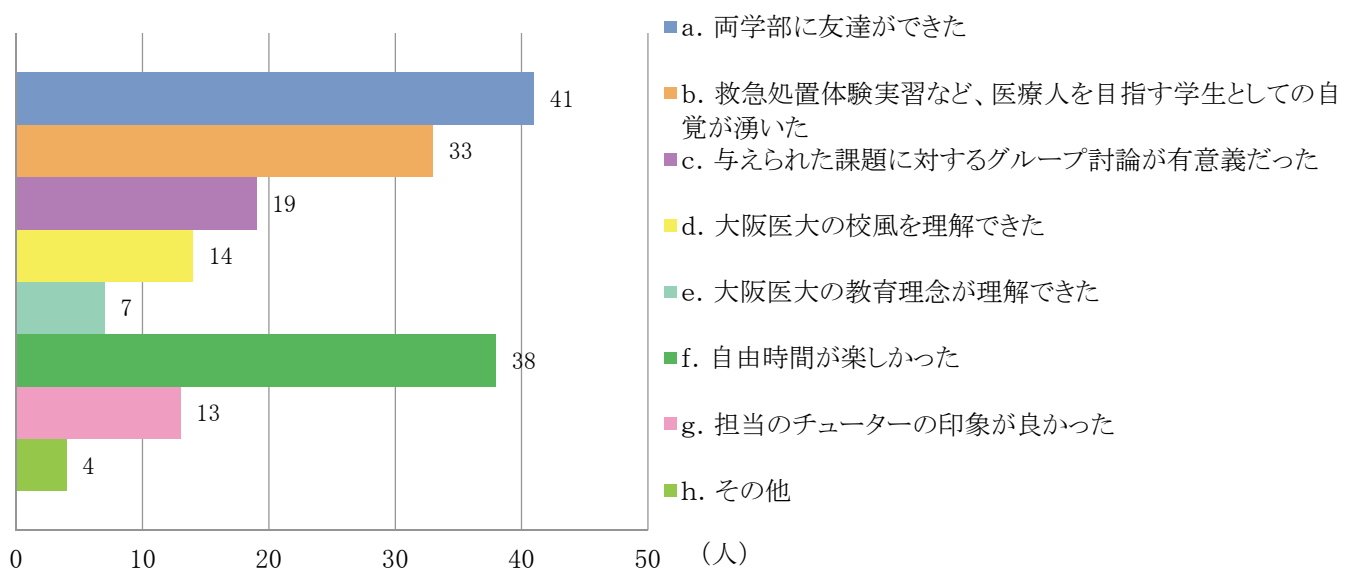
1. 与えられた課題の内容はどうでしたか？



※ c、dを選んだ方は、こういった内容の課題の方が良かったでしょうか。
何かふさわしい課題名(タイトル名)等があればお聞かせください。

- どの班も似た内容のポスターになりがち。
- 評価が低い。
- (bを選んだが) 学友会企画の賞品よりグループ別討論の賞品の方がランクが低いので、来年度以降は改善してください。

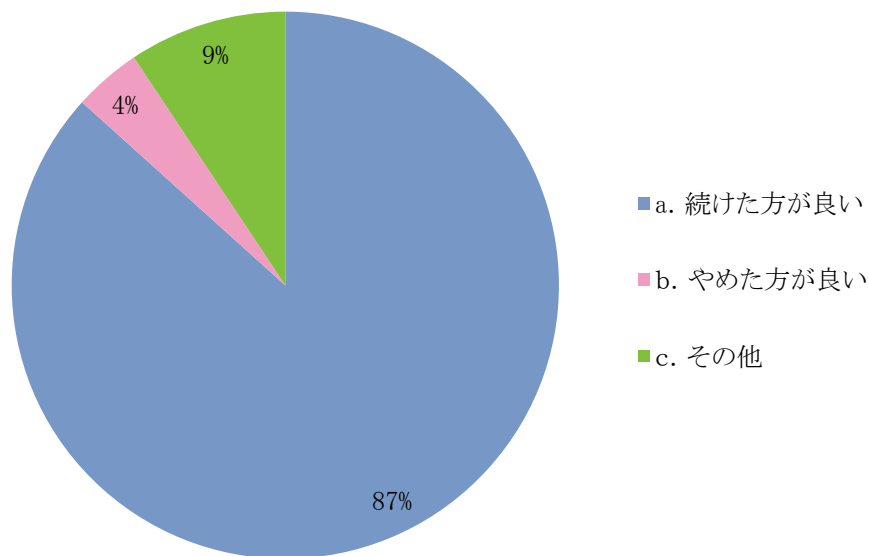
2. 印象に残っていることは？(複数選択可)



<その他の意見>

- ・ホテルが良かった。
- ・グループ別討論のとき、担当チューターの学生スタッフが学校のグチや先生や 1 年生との雑談し、途中からいなくなったこともあり、何のためにいたのかわからなかった。先生も何をやるのかあまり知らないようだったし、雑談ばかりで何故いたのかわからない。
- ・人間っていいなって思った。
- ・人の良さが分かった。

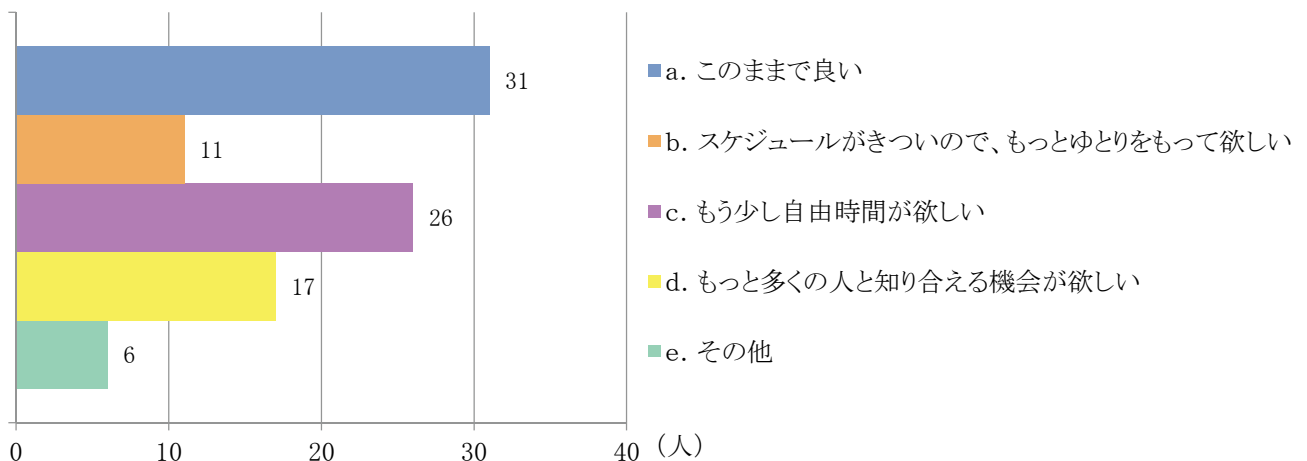
3. 来年度も新入生対象に、この合宿を続けた方が良いと思いますか？



<その他の意見>

- ・早い日程ならやるべき。
- ・日程に難あり。
- ・薬学部も入れてやった方がいい。
- ・医学部だけ、看護学部だけ、で合宿をするなら続けた方がいい。
- ・どちらでもよい。

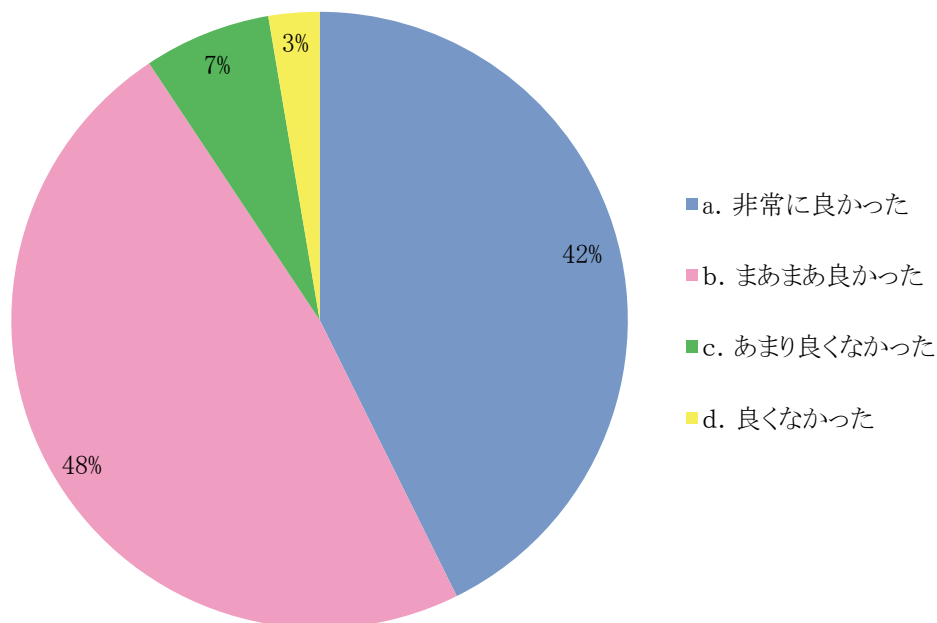
4. 来年度以降どのような新入生学外合宿にしたら良いと思いますか？



<その他の意見>

- ・心臓マッサージだけでなく、人工呼吸の方法も教わりたかった。
- ・開催時期をもう少し早めた方がいい。
- ・せっかく淡路島でやるなら、屋外に出たい。
- ・淡路島を散歩するなど、淡路島を感じられるイベントを作る。
- ・もっとレクリエーションを増やしてほしい。
- ・他にもみんなで協力してできる活動をしたら仲良くなれると思います。
- ・観光バスも医看合同にすれば良いと思った。
- ・夜の食事で突然他学部知らない人と組み合わせるのは、あまり意味がない。医学部同士、看護学部同士で話すことの方が多かった(日程が遅かったのもある)。グループ別討論のチームでとかの方が良いと思う。
- ・パーキングエリアで、もう少し時間がほしかった。

5. 学友会企画の『学生交流イベント』はどうでしたか？



※ c、dを選んだ方は、どういった内容の課題の方が良かったでしょうか。

何かふさわしい課題名(タイトル名)等があればお聞かせください。

- ・淡路島を散歩するなど、淡路島を感じられるイベントを作る。
- ・喋るものが多い方が良かった。
- ・時間とキョリが微妙だった。やらなくても良い。
- ・(bを選んだが)楽しかったし先輩方には感謝しかないが、何のための時間だったのか未だによくわからない。他学部などうちとけるためであったなら初日に行うべきな気がする。

その他

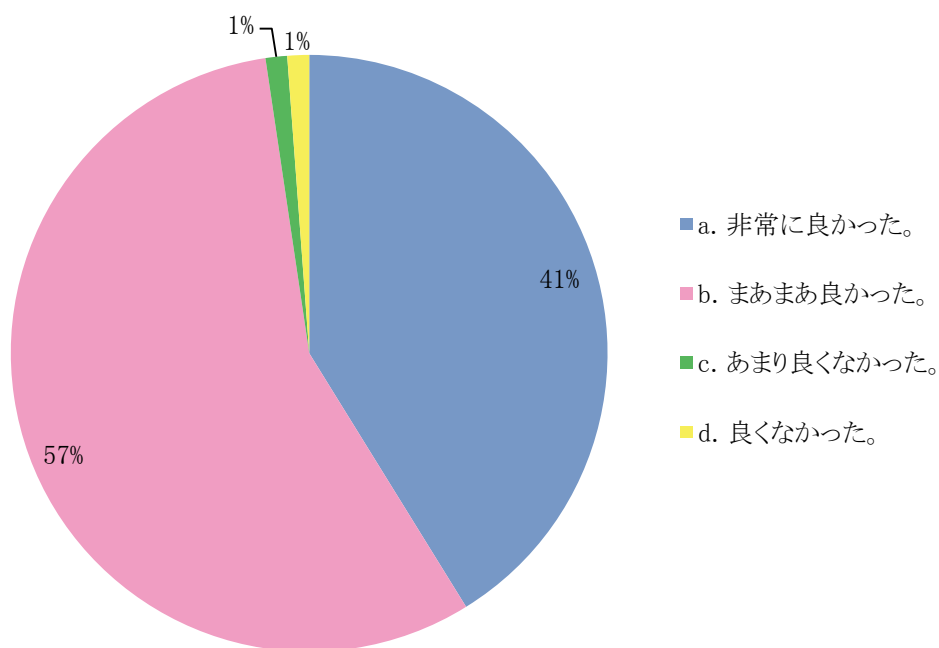
- ・(aを選んだ方から)特に一筆書きの絵を描くのが楽しかった。

6. 医学部・看護学部の間学部合同で行ったことについての感想や、その他意見があればお願いします。

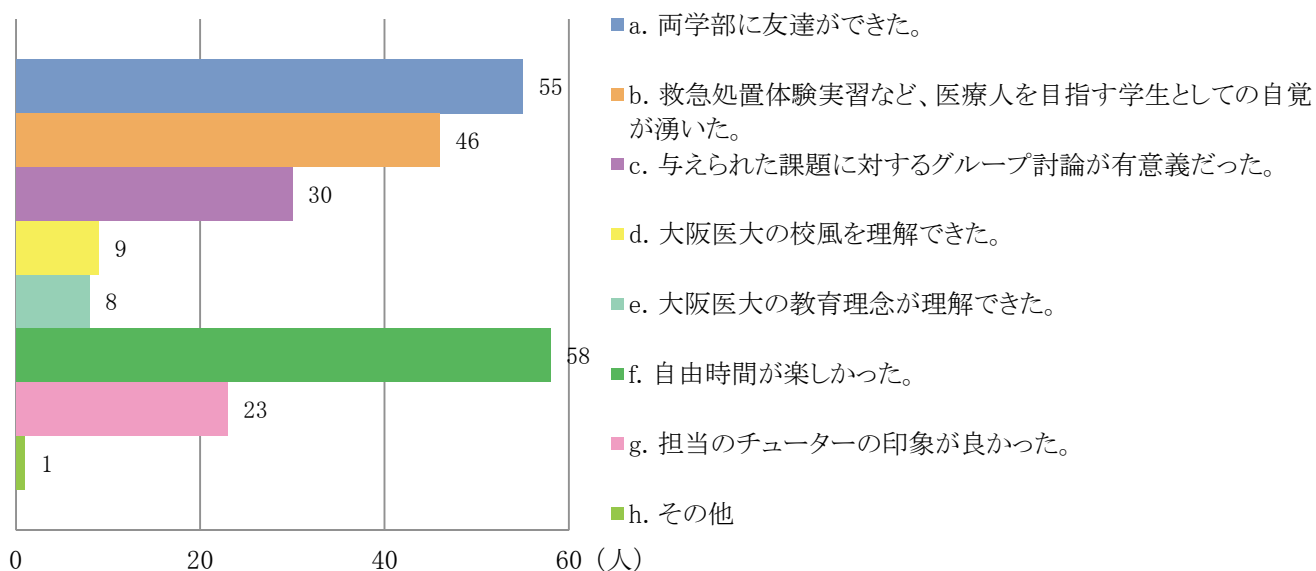
- ・討論や交流イベントなどで医学部の人とも看護学部の人ともたくさん話せて楽しかったです。
- ・楽しかったです。
- ・他学部の子と知り合えてよかった。
- ・良し。
- ・友だちが増えてうれしかったです。
- ・良いと思います。
- ・仲良くできて良かった。
- ・もっと早くやってほしい。
- ・もっと自由時間が欲しかった。
- ・2日目の内容がうすく、わざわざ泊りで行くのがよく分からなかった。
- ・医療人マインド以外で看護学部と関わる機会がないので、両学部合同で合宿をしなくていいと思う。グループ別討論のとき医学部女子 1:看護学部女子 3 だったので、雰囲気になじめなかった。グループのメンバーをランダムに決めるのはとてもよかったが、医学部女子を 1 人にしないしてほしい。
- ・正直、グループディスカッションよりも多くの医学部、看護学部の人達とコミュニケーションをとる機会が欲しかった。
- ・発表討論会のとき一人一人の先生に講評を聞く必要はなかったと思う。
- ・救急実習はとても良かったので、グループ別討論よりこのような実習をやる方がいいと思う。
- ・2日目の昼が弁当で残念だった。
- ・今回は日程的に友人を作ることより、より良い医療人になるため、心臓マッサージを行えるようになるためのみの合宿だった。それでも楽しかった。学友会の方々、ありがとうございました。

<看護学部新入生>

1. 与えられた課題の内容はどうでしたか？



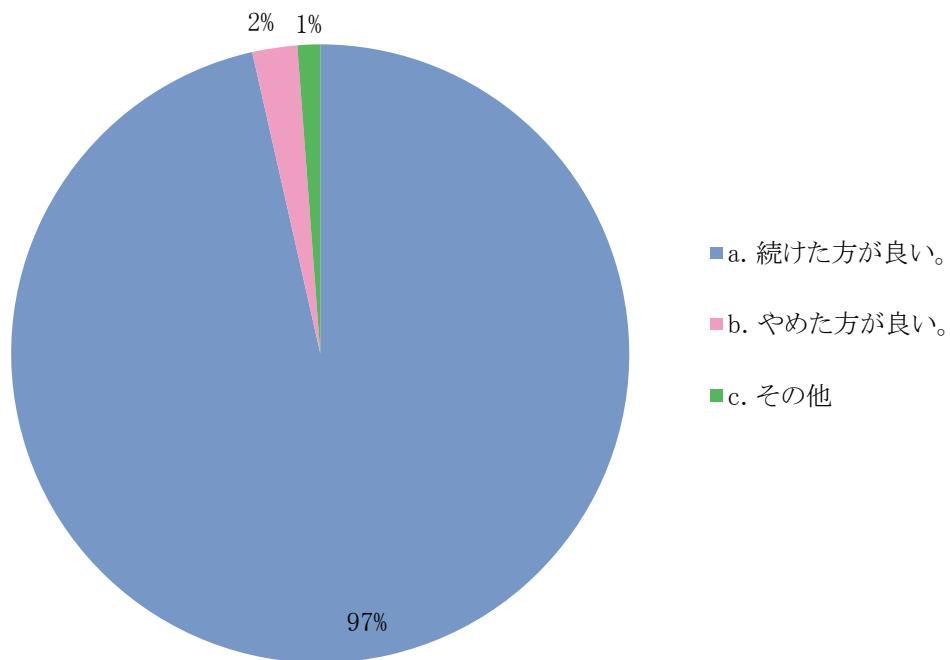
2. 印象に残っていることは？（複数選択可）



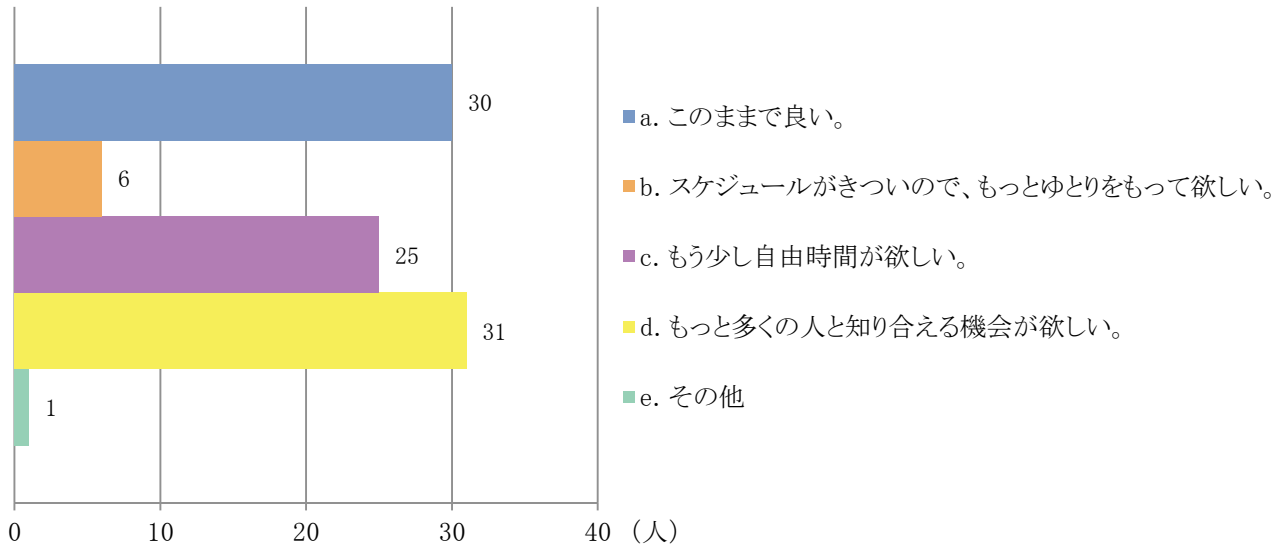
<その他の意見>

・担当のチューターの印象が悪かった。

3. 来年度も新入生対象に、この合宿を続けた方が良いと思いますか？



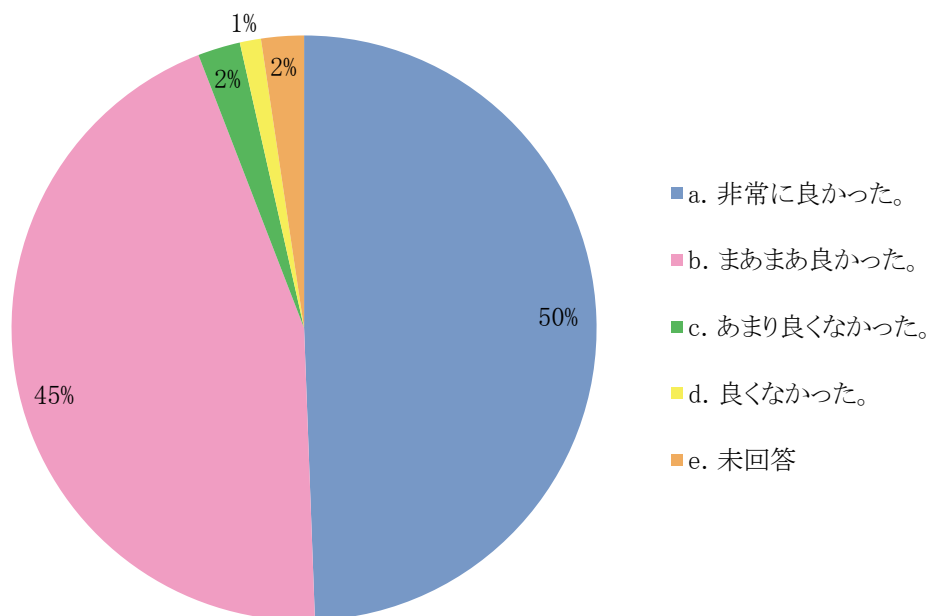
4. 来年度以降どのような新入生学外合宿にしたら良いと思いますか？



<その他の意見>

- ・出た意見をまとめた用紙を提出して授業参考資料にして欲しい。

5. 学友会企画の『学生交流イベント』はどうでしたか？



※ c, dを選んだ方は、どういった内容の課題の方が良かったでしょうか。
何かふさわしい課題名(タイトル名)等があればお聞かせください。

- ・参加していない。
- ・ぐだぐだ長すぎた。

6. 医学部・看護学部の間学部合同で行ったことについての感想や、その他意見があればお願いします。

- ・他学部の人と友達になれたので良い機会だったと思う。
- ・医学部の人とも交流が出来て良かったです。
- ・普段話すことのない人とも話せてたのしかったです。
- ・知り合いが増えてたのしかった。
- ・新しい友達ができて良かった。
- ・普段知り合えない人と知り合えてよかったと思う。
- ・医学部にも知り合いができ、看護同士でもご飯の席などがごちゃ混ぜだったのが親しくなった。
- ・これからがんばろうと思えたり、友だちもできてよかった。
- ・学友会の「学生交流イベント」でさらに医学部の人と話ができて良かった。
- ・医学部の人とも話せて楽しかったです。もう少し自由時間があればよかったなと思います。
- ・色々な意見をきけて、良かったです。
- ・看護とは違った視点からの意見が聞けてよかった。
- ・医学部の人とは考え方が少しずつ違っておもしろかったです。
- ・合同であったことが良かった。
- ・全体的に楽しくて良かったと思います。
- ・たのしかったです。
- ・1人1人がみんなで作ったポスターに投票できてよかった。
- ・遠足、校外学習。
- ・遊びに行きたいです。
- ・しばらくすぎだと思った。
- ・行動時間が割ときつかったから、もっと自由に行動したかった。
- ・同学部同士で自己紹介する時間ほしいと思いました。
- ・もっと淡路島を感じられる時間が欲しかった。

< 学生スタッフ >

1. 今回の合宿で良かった点

◆グループ別討論について

- ・グループワークの時間が昨年度よりも短くなって、メリハリが付き、だれることなく終わっていて良かった。
- ・ディスカッションの時間を限りあるものにすることで、活発な意見交換が可能となっていた。
- ・グループ別討論の時間がまとめるのに、ちょうどいい時間でした。
- ・グループワークの時間の長さが適当だった。
- ・グループワークの時間がちょうどよかった。
- ・看護学部 of 1 回生がたくさん質問してくれた（去年は学生スタッフのチューターが医学部のみだったので、質問しにくかった）。
- ・新入生と自分自身お互いにとって、違う視点から考えることができた。

◆学友会企画について

- ・学生交流イベントで交流の場が増えた。
- ・学友会のイベントがよかった。
- ・1 回生と交流ができた。
- ・学友会企画のおかげで、1 回生同士が交流を深めやすかったように思えた。

◆その他

- ・学生間の交流の時間が増えており、本来の合宿の意味があった。
- ・レクリエーションが多く、多くの人と喋る機会があったこと。
- ・先に救命講習があったので、グループ別討論のときに意見を出しやすそうだったところ。
- ・学友会で参加したが、仲の良さを 1 年生に伝えることができ、よかったなと思いました。
- ・1 回生とも学友会同士とも仲良くなれた。
- ・新入生との距離が近く、一緒に楽しみながら参加できた。
- ・晩ごはんが先生、医、看護混合だったところ。
- ・良いホテルで快適だった。
- ・楽しかった。

2.今回の合宿で悪かった点

◆グループ別討論について

- ・昨年のように、学生スタッフ1人で何個かの班を担当する方が、色々な班の意見を、それぞれの班に伝えることができたかもしれないな、と思いました。
- ・ポスター作成の際、チューターの先生があまり内容を理解していなかった。
- ・グループ別討論で私の意見を求められすぎて、新入生の意見を引き出しきれなかった。

◆発表討論会について

- ・発表の際、全員の先生のお話を聞くよりも、個々のグループの発表があった方がよいと思う。

◆その他

- ・看護学部のスタッフ(学生)が少なく、看護側の意見が必要な時になかなか聞けないという場合が多々あったように思う。
- ・新入生が同回と学生スタッフの区別ができておらず、学生スタッフを有効活用出来ていなかった。
- ・自由時間がもう少しほしいと1年生から聞いた。
- ・スケジュールがきつきつだったところ。帰りのSAでの休憩時間が短かったところ。
- ・スタッフ用のしおりがあれば、より良かった。
- ・会場間の移動に時間がかかった。
- ・1日目の昼食の席が分かりにくかった。
- ・1日目の昼食の量が少ないという1年生の声がかなり多かった。
- ・夕食は先生と学生は別の方が学生が緊張せずに食事できると思う。
- ・ご飯の量が少なかった。
- ・学生スタッフはお酒ありでもいいと思う。
- ・ホテルのお店で買い出しができなかった。
- ・寝れなかった。
- ・学歌をだれも覚えていない。

3.今後の合宿に向けて改善点や要望

◆グループ別討論について

- ・ポスター作成において、紙の切り貼りはOKなのか否なのかアドバイスしづらいので、大学側で指示してほしい。ポスター作成と工作が混同していた。
- ・ポスター作りの際、チューターはしっかりと内容を理解するべきである。
- ・ポスター作りの際、はさみやセロテープなども貸し出せるように準備しておく。

◆その他

- ・学生スタッフを複数の学年から行けるようにしていただければ、ありがたい。看護学部側も柔軟な対応をしていただきたい。
- ・スケジュールがタイトでしんどそうだった。もう少し余裕があればいいな、と思った。
- ・懇親会の校歌は、歌が入ったものを流すべきだと思う。もしくは、どこかで一度練習するタイミングをもうけるべき。
- ・学友会企画は今後も続けてほしい。
- ・学生スタッフはもっとわかりやすい服装をする。

4.その他(感想など)

◆グループ別討論、ポスター投票、発表討論会について

- ・発表討論会は上位に選ばれた班は発表だと聞いていたのに、発表がなくパンフレットとスケジュールが食い違っていたので少しとまどいました。

◆その他

- ・単科大学であることから、横のつながりも縦のつながりも非常に重要である。この合宿では、つながりをつくることができ良かったと思う。
- ・学友会企画を通して、1年生が仲良くなっていそうで嬉しかったです。ありがとうございました。
- ・医療について詳しく学ぶ前の貴重な1回生の考え方にふれることができ、良い刺激をもらえて、とても充実した楽しいものになりました。
- ・ホテルは琵琶湖より絶対良いです。来年も是非、淡路島でお願いします。
- ・先生方とお話しする時間や、新入生と関わる時間をもてて、とても充実した2日間だった。楽しかったです。ありがとうございました。

<教員>

1.今回の合宿で良かった点

◆新入生について

- ・新入生の自律性、協調性が昨年に比べてよかった。
- ・学生達のまとまりが良く、スムーズに進行できた点です。
- ・学生がすでに入学後、学内で一緒に過ごしていたこともあり、学生同士が打ち溶けた状態で、進んでいたように思います。

◆学生スタッフについて

- ・学友会の積極的参加。
- ・チューターの学生が大勢参加し、グループワークなどでリーダーシップを発揮し、頑張ってくれた。
- ・学友会イベントも、新入生にとっては大学の良さを感じられて、成功だったのではないかと思います。
- ・学友会主催の試みはよかったと思います。
- ・学友会が考えて実施したレクリエーション。
- ・上級学生の増員はかなりのサポートになりました。感謝します。
- ・グループ内の4年生のチューターが積極的にかかわってディスカッションの方向づけを補助してくれたので良かったです。
- ・先輩学生が参加したことはよかった。例えば参加した看護学部の学生にとっても、後輩を指導するという点や医学部の学生、教職員と交流ができたのは、医療人マインドの育成についてもよかったと考える。
- ・在学生の協力があつたおかげで大学生活の詳しい話を聞くことができ、新入生が楽しそうにしていた。

◆グループ別討論について

- ・グループ別討論の時間は長くもなく短くもなく、ちょうど良かったと感じました。
- ・学生のポスターを作成する時間がとられており、充実していた。
- ・グループワークでは、初対面の学生も多く緊張する中で、チームで作業する困難さを学ぶと同時に、協力することで生まれる楽しさや達成感も感じられる良い時間になったと思う。
- ・今回は昨年に引き続き2回目の参加でしたが、一つのテーマについて医療の道に足を踏み入れたばかりの学生達(医学部、看護学部)の様々な意見を出し合う機会があることはやはりコミュニケーション能力の向上という意味で大切であり、良い時間であると思います。
- ・各グループに配置されている教員や先輩のリードの方法の質が高く的確と思われた。

◆グループ別討論のポスター投票について

- ・周りやすいポスター掲示のレイアウトでした。

◆発表討論会について

- ・発表討論会での学生や教員からの意見交換、司会方法。

◆その他

- ・会を重ねるにつれて、パッケージングも固まりつつあるのではないかと思います。
- ・協力してくれた在学生への勉学面での配慮ができていた(レポートを課す、など)。
- ・業務用エレベーターを使用させて頂いたことで一般宿泊客への迷惑を抑えられた点。
- ・夕食時に教員と学生が同じテーブルを囲んで話ができ点。
- ・SAではなくホテルでの昼食だったので一般の方に迷惑をかける心配が軽減されました。
- ・ホテルの部屋に早く入れたこと、教員休憩室があったこと、夜の親睦会が自由参加だったこと、により空き時間に体を休めたり仕事のできたのでとても助かりました。
- ・心肺蘇生体験学習から始まり、一般社会生活の中での医療人としての自分の役割を認識させる構成が良かった。
- ・非常に豪華なホテルと抜群のロケーション、天候。(3票)

2.今回の合宿で悪かった点

◆学生スタッフについて

- ・チューターの学生の数名が、時間に遅れてもゆっくり入ってきたり、なかなか席に座らない場面があった。
- ・在校生は新生に対して「授業は出なくても大丈夫。」「みんな授業には出なくなっていく。」などと言うべきではない。ONとOFFのメリハリがつけられない学生を選出すべきではないと感じた。
- ・時間厳守といいつつ在校生が守れないのはどうか。また、2日目のポスター投票結果発表の間にずっとスマホを触っている、または寝ているのは先輩の姿として恥ずかしい。

◆グループ別討論について

- ・昨年の合宿で作成されたポスターの画像が予め先輩から提供され、参考とされていた点。
- ・開催時期がいつもより遅かったせいか、昨年度の学生の成果物のパンフレットの写真が新生にわたっており、ポスター作りにあたってそれを参考にしていました。次年度はテーマを変える必要があるかもしれません。
- ・去年や以前の学年のポスターをカンニング？した班もあるようです。形式を変えたりした方が良い

でしょう。

- ・ポスター作りとそのテーマはずっと同じなのでしょうか。ポスターのデザイン(見た目)は多少、年によって工夫が違いますが、本質的な内容は同じになってしまっている印象を受けました。

◆グループ別討論のポスター投票について

- ・発表者が周囲にいなかったポスターがあった点。
- ・1日目のポスターの掲示場所が狭く、行き来しづらかった。

◆発表討論会について

- ・ワークショップの発表会の時間が長すぎたと思います。
- ・座学のような講義はほとんどが寝ていた。
- ・授業の時間が長かった。
- ・2日目の教員側のコメントが長かった(会中に皆様気づいていたと思います)。
- ・2日目のまとめの視点を焦点化したほうが、より学びが深まったのではないかと思う。双方向のまとめとしてはむづかしいかもしれませんが。
- ・学生の班すべてを発表させた方が満足度が高くなるでしょう。
- ・(悪い点というわけでもないのですが)発表討論会での、代表者による発表が無かったように思います。学生さんやスタッフもコメントしづらかったのではないのでしょうか。

◆その他

- ・ライフサポートはいらないと思います。もっと学友会などの時間を増やしては？
- ・学生たちは食事の量が足りなかったみたいです。
- ・一日目のお昼ご飯は量的に足りていなかったという学生の意見を聞きました。
- ・初日の昼食。昨年の方が良いと思います。
- ・泊2日と短い期間なので、夕食は完全にバラバラより、ポスター作成の班で食べた方がより交流が深まるかと思いました。
- ・せっかく淡路島という良い場所で行われているので、屋外でのグループ活動が出来たら新入生の学生はもっとのびのびとグループ活動が出来そうな気がします(が、天候や場所の確保など、難しい要因があるんですね・・・)。
- ・悪い点かどうかはわからないが、学友会企画の間の学生の様子が分からなかった。一部の先生方のみ分かる方式でよい？
- ・学友会の企画にチューターが参加するかどうかわかりませんでした。
- ・緊急連絡先(携帯電話の番号)はお伝えしたが、連絡系統がどのようなものであるかが分からなかった。そのため、万が一連絡を受けた時にはどのように行動・連絡すればよいのかが分からなかった。(も

しオリエンテーション時に説明があれば申し訳ありません。)

- ・今回も学生がエレベーターを専有したために、他の宿泊客が使えないという状況がみられました(ポスター投票後)。学生が別(バックヤード?)のエレベーターを使うことを、スタッフである私も失念していましたので、これはちゃんと最後まで誘導すべきだったかと反省しています。

3.今後の合宿に向けて改善点や要望

◆学生スタッフについて

- ・看護学部では、先輩学生がより参加できるように工夫をしていきたい。
- ・チューターの学生に、先輩としての立ち振る舞いや、オンとオフの切り替えの大切さ、合宿にチューターとして参加してもらう意味について事前に確認をしておく必要がある。新入生にとっては、身近な先輩は話しやすく、ロールモデルになるので、時間を守ることや、人の話はしっかりと聞くという基本的なマナーは守れるようになってほしい。

◆グループ別討論について

- ・日程が遅いと先輩から前年度の情報が出回るので、課題テーマを変更した方が良いかも知れません。
- ・医学部の学生は先輩から前年度のポスターの写真をみせてもらっているため、まとめ方や工夫の仕方を知っていました。全体での発表になると嫌なので力加減を調節したポスター作成をしているらしく、少し残念に思いました。

◆グループ別討論のポスター投票について

- ・ポスターの評価対象として内容が軽視されているので、内容を評価する賞があっても良いと思います。

◆発表討論会について

- ・昨年も提案しましたが、先輩(学生・教員)に対する質疑応答コーナーはいかがでしょうか？
 - ・1、1-3位とチューター賞発表
 - 2、教員から30秒ずつのメッセージ
 - 3、事務職2、3名からのメッセージ(池田次長、森迫主任等のメッセージも教職協働の点からも有効と思います)
 - 4、再度20分ほどグループで気づいた点を考えさす
 - 5、30秒ごとに全グループで「新たな学び」を話してもらう
- という流れはいかがでしょうか？すなわち「教員からのフィードバックを受けて再度考えるという正のフィードバックを回す。

- ・発表会はもっと時間短くしていいと思います。
- ・学生はハンズオンにしないと寝てしまう。

◆その他

- ・全体プログラムの進行役が必要では？：実務委員の中から事務方(学務課職員)を除く委員 2 名程度・・・学生に諸注意や次の行動などをアナウンスする人。事務方はエージェントやホテル・会議場の担当者との折衝等で忙しいので。
- ・先生方で「医療人として時間を守ることは大切だ！」と学生には言われているものの、事前に具体的に指示出来ていなかったように思いました。
- ・委員の皆さんは、お忙しいとは思いますが、それぞれのセッションでの事前の打ち合わせ(仕込み)が必要かな？
- ・教務事務の有難さを学生に理解させるため、事務からも学生生活で気づいたところをコメントしてもらう。
- ・薬大と大学統合した場合については協議が必要かと思います。
- ・学生には食事の量がちょっと少なかった(特に初日の昼食)。
- ・夕食時に医看が混じって食事するのはよいと思うが、新しいメンバーだと話づらいので、ディスカッションの時のグループのメンバーと一緒に食事をするほうがよいのではないかと思う。
- ・新入生からの意見で、お土産を買う時間が欲しかったとのこと。
- ・グループ活動は何か違ったものに変更してみるのはいかがでしょうか。グループ対抗スポーツなど。毎年違った事にチャレンジさせてみたい気がします。
- ・新入生学外合宿実行委員を担当させていただいた初回ということもあり、実行委員として自分自身に関わらないといけない部分がよく理解できました。ですので、これは個人的に改善していきたいと考えております。ただ、合宿の内容自体は良いものになってきたと感じますので、今年度を土台にしていけばいいのではないかと感じました。

4.その他(感想など)

◆グループ別討論、ポスター投票、発表討論会について

- ・討論後の教員からのコメントが少し長かったため、学生の集中力が途切れていた。コメントに入る前に、もう少しそれぞれのグループのポスターの内容について、発表や議論を深められると良かったと思う。
- ・自分の班で受け持った学生で、やや自由感のある学生がおり対応が難しかった。
- ・会場の都合もあるかと思いますが、ポスター展示スペースが広くなると良いかと思います。

◆その他

- ・教員からのメッセージを予め冊子等に載せていてもいいかもしれません。また、討論会を聞いた教員からの感想も冊子等でフィードバックはいかがでしょうか？
- ・学生が楽しそうにイキイキと取り組んでいるのが印象的でした。今回で話し合ったことや各自が感じた今後への抱負や意気込みが持続するかが課題と思われました。
- ・新入生学外合宿は医療人や大阪医科大学のマインドを育成するうえではよい企画と思います。
- ・新入生側の感想などはあるのでしょうか？例えば会自体への感想。会参加前と後での意識調査。1年生が終わる頃の意識調査など。
- ・今年は夜学生がホテルで騒ぐこともなくマナーを守っていたように思いました。
- ・今年はスケジュール的に遅すぎかと思ってましたがそうでもなさそうでした。
- ・日程は木金は他の宿泊者も少なかったので、よかったと思う。
- ・薬大との統合後は規模が大きくなりすぎるため、どうなるか心配です。
- ・準備と運営に関わってくださった教職員の皆様、どうもありがとうございました。
- ・今回も大変お世話になりました。ありがとうございました。